

【一般質問】 6月8日(木)、9日(金) 午前9時～

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
1	いなべ未来 (240分)	岡 英昭	<p>1.保育現場の諸課題について</p> <p>(1)保育スタッフ、クラス数、園児数など新年度の規模は。課題は出ていないか。</p> <p>(2)これまでいなべ市では、国基準(4～5歳児30人に対して保育士1人を配置)以上の保育士を配置し丁寧な保育を行っているため保育士は充足していない、と答弁を受けてきた。全ての園において、国基準はクリアしているのか。</p> <p>(3)保育士が充足していない状況が保育サービス等へ影響を与えていないか。</p> <p>(4)市内保育園の未満児受入状況は。前定例会で答弁があった待機児童は解消されたか。</p> <p>(5)令和5年度施政方針で「待遇改善を含めた保育人材の増員と保育のICT化を進める」としているが、保育業務の軽減化策は。</p> <p>(6)第2期基本計画の中で「子どもを預かる場所の充実により子育てと仕事を両立させることができる環境を整備する。」とあるが、取り組んでいる事実はあるのか。実状と今後の改善計画は。</p> <p>(7)市の「パートタイム会計年度任用条件通知書(雇用契約)」と社協の「労働条件通知書兼雇用契約書」で、待遇等に差異は生じていないか。</p> <p>(8)市立園・社協立園それぞれの正職、臨時職(非常勤)、パート保育士の割合は。</p> <p>(9)社協立保育士の主任保育士以下の割合は。</p> <p>(10)社協立保育士の3か年の応募者数と採用状況は。</p> <p>(11)社協立保育士の3か年の離職状況は。</p> <p>(12)保育園栄養士、調理員の配置状況と基準以上の配置の増減はあるか。</p> <p>(13)いなべ市立保育園の私立化(社協立化)計画の進捗具合は。</p> <p>(14)保育園などに通っていない未就園の子どもは「無園児」とも呼ばれ、虐待のリスクも高まる恐れがあり、国は、親の就労に関係なく、全ての乳幼児が保育所を利用できるようにするとしている。いなべ市の「無園児」の状況は把握しているか。</p> <p>2.入札契約の現状について</p> <p>(1)随意契約によるメリットとデメリットに対する市の考えは。</p> <p>(2)予定価格に対する決裁者(役職)はどのようになっているか。</p> <p>(3)緊急性がある場合等随意契約となるケースのここ3か年の現状は。</p> <p>(4)プロポーザル方式による業者選定(契約)の推移は。</p> <p>3.教育の諸課題について</p> <p>(1)昨年度より学級数に変動があった学校と、市内最大児童数と最少児童数の学校は。</p> <p>(2)県独自の少人数学級充実策における学級編成について対象学校は。</p> <p>(3)全国的に新年度教員不足で学級担任が定まらないなどの影響が出ているが、本市の学級編成、教員担当編成などにおいて教員不足の影響は出ていないか。</p> <p>(4)学校における働き方改革推進事業の人員配置としてスクールサポートスタッフ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置状況は。</p> <p>(5)同事業として部活動指導員の増員と外部技術指導者の現状は。また課題は。</p> <p>(6)栄養教諭等の配置は自治体判断のため地域格差が17倍という。配置状況は。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ続く</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
		岡 英昭 (続)	<p>(7)文科省は公立小中学校の通常学級にADHD等発達障がいのある児童生徒が8.8% (小10.4%、中5.6%)在籍すると推定。LDの可能性のあるのは6.5%で、ASDも含め増加しているとしている。支援策として「通級指導」を重視している。</p> <p>①新年度の特別支援学級の障害種別設置状況は。</p> <p>②特別支援学校免許状を持たない教員が特支学級担任する場合の届け出と実状は。</p> <p>③市内各校通級指導において「自校通級」「巡回通級」「他校通級」の現状は。</p> <p>④4月18日に、小学6年生と中学3年生205万人を対象に行われた全国学力テストは、「通級児童生徒」「特別支援学級在籍児童生徒」の受験はどのように行われたか。</p> <p>⑤結果は来月(7月)下旬に発表であるが、どのように活用するのか。</p> <p>⑥通級児童生徒の中学校、特支校、高校等への昨年度の進路状況は。</p> <p>(8)放課後児童クラブ「石博学童」が新規オープンしたが、スタッフ、児童数等の状況は。</p> <p>(9)各学校が毎月提出する「問題行動報告書」について、令和4年度の状況は。</p>
2	いなべ未来 (240分)	位田まさ子	<p>1.高齢者福祉の充実について</p> <p>(1)「高齢者の包括的な支援が充実したまち」について</p> <p>①包括支援センター利用者の推移は。 ※ここで確認したい点は、令和2年にいなべ総合病院に地域包括支援センター支所が設置される前後に変化はあったか。コロナ禍の利用件数に特異な部分はあったか。</p> <p>②包括支援センターの人員体制の現状は。</p> <p>③2025年、2040年が迫る中、相談員の確保・育成計画は立てているか。</p> <p>④第9期では、包括支援センター機能について見直していく考えはあるか。</p> <p>⑤認知症施策について、総合相災の中で認知症に関する相災件数の状況は。</p> <p>(2)「高齢者が元気で活躍できるまち」について</p> <p>①阿下喜温泉を拠点に取り組んできた健康づくりは、今後、どのように運用していくのか。</p> <p>②元気リーダーが高齢化し運営が難しくなっている地域と対策は。</p> <p>③日常生活支援として進める「住民主体型訪問サービス」を充実する考えは。</p> <p>(3)「高齢者が安全で安心して暮らせるまち」について</p> <p>①令和7年度を目途に全118自治会で福祉委員会の設置を目指しているが、進捗と展望は。</p> <p>②第1.5層協議体の位置づけと現状は。</p> <p>(4)いなべ市成年後見支援センターの利用状況は。</p> <p>2.定年延長制度に伴う職員の定数管理と会計年度任用職員について</p> <p>(1)定年退職者は2年に1度しか生じないことから、職員採用が抑制されないか。</p> <p>(2)定年延長制度の導入に伴う定員適正化計画の見直しは。</p> <p>(3)定年延長制度導入に伴う職員人件費の見直しは。</p> <p>(4)会計年度任用職員の活用の見直しは。</p> <p>(5)会計年度職員の待遇改善の取り組みは。(報酬の引上げ及び期末手当の支給を含めた取り組みは)</p>

次ページへ続く

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
3		伊藤 三保	<p>1.おくやみコーナーの設置を (1)市役所内に「おくやみコーナー」という窓口を設置している自治体がある。本市で「おくやみコーナー」を設置する考えは。 (2)おくやみハンドブックを作る考えは。</p> <p>2.子育て支援の充実を (1)子どもの医療費の窓口無償化について 子どもの医療費を自治体が独自に「無償化」などした場合、国が国庫負担金を減額する仕組みについて、厚生労働省は4月5日、高校生までの部分を廃止する方針を明らかにした。これを受けて、本市でも18才までの子どもの医療費の窓口負担を無償化する考えは。 (2)いなべ市の奨学金制度について ①いなべ市には、無利子で返還型の奨学金制度があるが、現在までの利用状況や返却状況は ②奨学生の選考基準は ③いなべ市の奨学金制度と他の奨学金制度との併用は出来るのか (3)放課後児童クラブの充実について ①土曜日に、子どもを預かれる児童クラブはあるか。 ②休日の利用希望について、ニーズ調査を行っているか。 ③休日の児童クラブ開放に対する市の考えは。</p>
4	いなべ未来 (240分)	渡辺 一弘	<p>1.結びやすく、運びやすい「指定ごみ袋」と持続可能な「ごみ処理施設」の運用について (1)指定ごみ袋を取手付きにして、結びやすく、運びやすい形状にリニューアルする考えは。 (2)買い物時、有料レジ袋として使える市指定ごみ袋を追加する考えは。 (3)ごみ処理施設の重機について、油圧ショベルを計画的に更新していくことで、粗大ごみを解体し、分別を効率的に進み処分費を抑えられる。 油圧ショベルの更新・拡充と施設で働く職員に重機の資格を持った人を積極的に採用すべきと考えるが見解は。 (4)粗大ごみ処理施設のキャパシティといつごろ満杯になるのか。今後の計画は。</p> <p>2.市民に広くいきわたる「物価高騰対策」と「地域経済の振興」を (1)新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ変更されたことに伴い、各所で人流が戻りつつある今、市内の店舗で利用できるいなべ市独自の地域クーポンを発行し、物価高騰に苦しむ市民への助成と市内の商業を支える施策を商工会と一致団結して取り組む考えは。 (2)地域経済の振興を図るため、地域デジタル通貨の導入を ①マイナンバー普及率の高い本市において、マイナンバーカードと連携した地域ポイントアプリは有効であると考え。検討する考えは。 ②運用が始まった「いなべ」はWAONポイントに交換できることとなっているが、市内の店舗でどれほどWAONポイントが使用できるか把握しているか。</p> <p>3.もっと利用しやすい「公共交通」を目指して (1)現在の福祉バスの費用対効果をどのように積算しているか。1人当たり輸送コストは。 (2)免許返納率も上がり交通弱者がますます増えることが予想される。今後、福祉バスの運行を拡大していくか。交通弱者対策に対する市の考えは。 (3)現在の鉄道ダイヤを無視した福祉バスダイヤを修正するべきではないか。見解は (4)いなべ市の総合戦略の将来像に、「住んでいーな！来ていーな！活力倉生のまちいなべ」と掲げ、市内への来訪者促進を図っているが、阿下喜駅を降りても、そこから先のバスは土曜、日曜、祝日運休では、来訪者は公共交通機関で市内を巡ることはできない。観光客の移動手段をどのように担保しようとしているのか。 (5)福祉バスを土曜、日曜、祝日も運行する考えは。 (6)市内の公共交通としての福祉バス、北勢線、三岐線をさらに連結させる必要があると考えるが、もう少し細やかな連携調整ができないのか</p>

次のページ

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
5	創風会 (120分)	伊藤 智子	<p>1.「元気みらい都市いなべ」の今後の取組みについて 「元気みらい都市いなべ推進事業」で効果があった事業は市単独事業として本年度も実施予定である。昨年9月の一般質問で、“元気とは心身が健康であると考え文化・芸術の振興と共に推進すべきでは”との提言に、“令和6年度からはじまる次期総合計画の策定審議会の中で検討していく”と言う事であった。検討していくことと進捗まいかがか。</p> <p>2.農業推進と学校給食について (1)農業を推進すること・学校給食を地産地消にする事を昨年6月と12月に質問した中で、“国の「みどりの食料システム戦略」に基づく減農薬・減肥料有機農業の推進・環境負荷の低減・先端技術の導入によるスマート農業などへの支援事業、農地の集約化への補助なども推進されていく”と答弁があった。市はどのように進めているのか。 (2)野遊び推進事業での“市民がうるおうための計画(農業を含む)”を昨年3月に質問した際“この事業では整備する拠点等を核に地域回遊等を促していくため、市民協働で旅行商品の造成や体験コンテンツの開発を行う。新規事業者対象に補助金を交付、地域資源を活用し、「体験」という手法で交流人口の拡大から地域の活性に繋げて市民参画を行う”と答弁があった。野遊び推進事業で市民がうるおうための計画を再度問う。 (3)“食の市民ミーティングは政策方針が決定しない中で考えていない”と答弁があったが、農業従事者の若い方、長く従事してみえる方など、子育て中の家族の方、学校関係の方々など、集って気軽に意見交換をしてみると、見えて来るものがあるいなべ市の未来を考える良い機会になるのではと考えるがいかがか。 (4)“給食の食材納入指定業者に生産者が参入出来るのか”の問いに“参入できる、3年毎にHPや静慮誌リンクで募集している、次回は2024年11月頃”と答弁があったが、募集に向けて生産者に分かりやすく応募しやすくなるような工夫はされているか。 (5)“有機栽培の農畜産物を使ったオーガニック給食が全国的に広がっているが本市は”の問いに“今の段階では予定がない”と答弁があったが、どの様な段階になれば予定されていくのか。</p> <p>3.市民くつろぎの場を いなべ市のおもてなしとマナー教育について、一昨年12月に質問した際“多世代が交流出来る場を提供し、市民が無料で自由に集える場所を作るのはいかがか”の問いに“大安庁舎のことは計画が無いので何も言えない”と答弁があった。また、“赤ちゃんや小さなお子さん連れの人、散歩する人のために、集いやすい所に新たな公園を作るべきでは”の問いに“現在進めている事業を作成した後、色んな補助事業で有効な部分があれば直ぐに着手したい”と答弁があった。 令和5年度の施政方針の中に、「旧大安庁舎を温水プールや宇賀川の河川敷と連携したグリーンインフラとしての整備を計画する」とあるがどの様に進めるのか。市民の声を取り入れて市民に寄り添った市民の楽しみとなる市民のための場をすべきと考えるがいかがか。</p>
6		清水 隆弘	<p>1.PFAS(有機フッ素化合物)への対策について (1)PFAS(有機フッ素化合物)の特徴、危険性は。 (2)PFAS(有機フッ素化合物)の飲み水への規制状況は。 (3)PFAS(有機フッ素化合物)は市内の水源地で検出されているか。 (4)PFAS(有機フッ素化合物)への対応について、三重県とどのような情報共有を行っているか。 (5)PFAS(有機フッ素化合物)等化学物質から飲み水を守る取組は。 (6)PFAS(有機フッ素化合物)系のPFOS及びPFOAを含んだ泡消火剤を使用した消火器及び泡消火設備が市消防団や桑名市消防本部で使用されていないか。 (7)環境部としてPFAS(有機フッ素化合物)についての見解・対策は。</p>

次ページへ続く

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
6	創風会 (120分)	清水 隆弘 (続)	<p>2.障がい者スポーツの推進について</p> <p>(1)市内に在住されている障がい者数(障害者手帳保持者)の現状は。</p> <p>(2)「包摂的社会」を実現するうえで、障がい者スポーツ(文化芸術も含む)の振興を図ることは、大変意義深いことと認識している。障がい者スポーツ振興に向けて、どのようなビジョンを持っているのか伺う。</p> <p>(3)障がい者スポーツ振興に取り組んできた実績は。</p> <p>(4)障がい者スポーツを普及推進するための、行政における推進体制は。</p> <p>(5)障がい者スポーツを普及推進するための、今後の取組は。</p> <p>(6)障がい者スポーツに係る支援者などの発掘・育成等を進める考えは。</p>
7	新風いなべ (60分)	多湖 公	<p>1.災害対策</p> <p>(1)最近、石川県能登、千葉県木更津、鹿児島県大島と三重県の周圏で立て続けに震度5～6クラスの地震が発生している。東南海地震も心配されている中、いなべ市としても常に意識対策する必要があり質問する。</p> <p>(1)各自治会での避難先及び避難経路は徹底されているか。</p> <p>(2)要支援者名簿の共有は、どの範囲でされているか。(行政内・地域内)</p> <p>(3)要支援者の避難について、市から地域に対してどのようなアドバイスをしているのか。</p> <p>(4)福祉委員会について</p> <p>①発災時の福祉委員会の役割と、福祉委員会に期待する機能は。</p> <p>②各地域の福祉委員会設置状況は。</p> <p>(5)地震発生後、高齢者、障がい者の病院への往來の確保は。</p> <p>(6)復興を迅速にするために、また、家族やご近所間のトラブル回避のため、地震保険の加入促進・啓発を継続的にやっているか。</p> <p>(7)発災後、数日間は物流停滞が予想されている。いなべ市内に避難所が25か所あるが、備蓄用品を各避難所へ配達する方法は確立されているか。</p> <p>2.子育て支援施策</p> <p>(1)待機児童について</p> <p>①令和5年2月時点で待機児童が19人であったが、その後、解消できたか。</p> <p>②年度途中で待機児童が発生しないように、対応できるような態勢をとることはできるか。</p> <p>(2)保育園のICT化について、導入の進捗と業務に変化は見られるか。</p> <p>(3)市内に小児科病院が少ないが、現状で充足していると考えているか。</p> <p>(4)いなべ総合病院の寄附講座の効果は。小児科にも対応できないか。</p> <p>(5)令和3年に乳幼児と保護者が相互の交流を行う場所を開発しているがその現状は。</p> <p>(6)子育て支援センターの利用者は園庭で遊ぶことができるか。</p> <p>(7)市内には、近隣自治体にあるような子どもが遊べる公園が少ないと考えている。市は子どもが安心して遊べる公園がどれだけあると考えているか。</p>
8	日本共産党 いなべ市議団 (90分)	岡 恒和	<p>1.保育所の運営状況等について問う</p> <p>(1)公立保育園の現状と課題について</p> <p>①保育士の充足状況は。</p> <p>②正規保育職員及び再任用保育職員の配置状況は。</p> <p>③会計年度任用保育士の配置状況は。</p> <p>(2)任用形態の異なる保育士による保育所運営の課題は</p> <p>①保育士人材派遣による配置状況と委託額は。</p> <p>②直近5年間の人材派遣保育士数及び委託額の推移は。</p> <p>③派遣保育士の占める割合が増加した原因は。</p> <p>④一人当たり保育士派遣委託料及び会計年度任用保育士の年間平均単価は。</p> <p>⑤派遣委託保育士、会計年度任用保育士の勤務上等の制約にはどのようなものがあるか。</p>

次ページへ続く

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
8		岡 恒和	<p>(3)より良い保育のため、保育環境の改善方法は</p> <p>①派遣委託が増えてきた要因は何か。</p> <p>②保育士不足に対し、これまでどのような対策をとってきたか。</p> <p>③直近5年間の保育職員募集の方法と応募状況及び採用状況は。</p> <p>(4)私立保育園の現状と課題について</p> <p>①保育士の充足状況は</p> <p>②いなべ市立保育園との給与比較ではどのようになるか。</p> <p>③政府統計2019年度調査(地域区分別)との比較ではどのようになるか。</p> <p>④給与改善の必要性についての認識は。</p>
9	日本共産党 いなべ市議団 (90分)	衣笠 民子	<p>1.子育て・子どもの育ち応援のまちに</p> <p>(1)子どもの医療費助成制度の所得制限の撤廃</p> <p>①子どもの医療費助成制度の所得制限の撤廃をすることが、令和5年3月定例会で「施政方針に書き忘れたが撤廃をする」と市長の答弁であった。いつから実施か。</p> <p>②他の福祉医療費助成ではどうか。</p> <p>③市長は令和3年3月定例会で「福祉医療費助成は弱者を対象としたもので、所得制限があるのが筋、所得制限を撤廃することは設立の趣旨に反する」と答弁しているが、どのような考えの変化があったのか。</p> <p>(2)子どもの医療費無料年齢を18歳まで引き上げを</p> <p>①三重県内で18歳まで医療費無料を実施、実施を決定している市町は。</p> <p>②令和5年3月定例会で、現在の中学校卒業まで無料から18歳まで無料年齢の引き上げは「市単独経費となるので今後慎重な検討が必要」との答弁があった。県の制度では小学生までであり、すでに中学生分は市単独経費で実施をしている。中学生分はいくらの負担か。</p> <p>③子どもの医療費無料年齢を18歳まで引き上げをしては。</p> <p>(3)子どもの医療費無料は償還払いでなく、窓口で無料に</p> <p>①窓口での無料実施に対して、国が国民健康保険徴収にペナルティを課することが実施の障害になっているとのことだった。国がペナルティ廃止の動きを見せているが、その状況は。</p> <p>②現在、未就学児まで窓口で無料になっている。医療費無料実施年齢すべてで窓口無料にする考えは。</p> <p>(4)就学援助の対象拡大を</p> <p>平成28年9月定例会で就学援助の対象を生活保護基準の1.5倍未満への対象拡大を求めた答弁で「近隣市町の動向を見て足並みをそろえて引き上げを検討」とあった。</p> <p>令和3年12月定例会では、「いなべ市は学校教育活動にかかわる需要費等を手厚く一般会計で負担していて、援助率や認定比率では有用性は計れない」として拡大とはならなかった。そろそろ、1.5倍未満に引き上げては。</p> <p>(5)国民健康保険税の子どもの均等割の減額・免除の拡大を</p> <p>①令和4年4月から国の制度として未就学児の均等割が5割に軽減された。現時点で国民健康保険の未就学児、小学生、中学生、高校生の人数は。</p> <p>②あらたに小学生、中学生、高校生の5割軽減をするために必要な費用は。</p> <p>2.個を大切に社会へ</p> <p>(1)小学校のトイレにも生理用品の設置を</p> <p>令和4年12月定例会で小学校高学年のトイレに試験的に生理用品を設置することを提案したが、どう取り組まれたか。</p> <p>(2)公共施設トイレに生理用品の設置を</p> <p>①令和4年12月定例会で、いなべ市が観光に力を入れているということで農林商工部から公共施設トイレに生理用品を設置するよう求めたが、どう検討し、どうなったか。</p> <p>②公共施設トイレに生理用品を設置することの状況、進捗は。</p>

次ページへ続く

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
9	日本共産党 いなべ市議団 (90分)	衣笠 民子	<p>(3)公共施設男子トイレ個室にサンタリーボックスの設置を</p> <p>①令和4年12月定例会で、庁舎地下トイレに試験的に設置をしていて、状況を見て設置の判断、検討をすすめるとのことだったがその進捗は。</p> <p>②令和4年12月定例会で、試験的に公共施設全体で設置することを提案したが、どうなったか。</p> <p>3.市民のつどえる場を</p> <p>(1)(1)大安公民館 令和4年12月定例会で大安公民館の男子トイレ個室の不具合から大安公民館の維持管理について一般質問を行った。築38年で一番古く、不具合も出てきている状況を踏まえ、「ホールの活用方法を含め、大安公民館の活用方法を協議しながら、今後改修計画を検討していきたい」との答弁だった。改修計画の進捗は。</p> <p>(2)図書館、児童館、青年の居場所、市民活動センター等の複合施設整備を</p> <p>①児童館事業は令和2年3月末で児童館条例を廃止し終了している。平成31年3月定例会施政方針で「庁舎移転後の大安庁舎1階に児童センターの機能…新たな学び舎として提案します」とあったがいつの間にか計画もなくなり、大安中央児童センターも閉鎖された。安心して遊べる遊び場が欲しいということもアンケートで多くある。普通小中学生、それより未満の子どもたち兄弟姉妹を連れて遊びに行ける場所が欲しいとの声もあるが、児童館機能をどう整備するのか。</p> <p>②グリーンインフラ整備の事業と大安公民館を図書館、児童館、青年の居場所、市民活動センター等の複合施設として整備する事業を関連づけることはできないか。</p> <p>(3)スケートボード、ローラースケート等の練習場を 安心して利用できるスケートボード、ローラースケート等の練習場が欲しいとの声を聞く。松阪市では競技もできる場所を整備し、市内のみならず利用者があると聞く。観光を位置づけるいなべ市でも若い人のニーズに目を向けることは移住者を増やすことにも貢献できると考える。スケートボード、ローラースケート等の練習場の整備についてどうか。</p>
10	無会派 (45分)	西井真理子	<p>1.個別避難計画作成は</p> <p>(1)避難行動要支援者名簿について</p> <p>①平成25年に義務化されている避難行動要支援者名簿の提出状況は。</p> <p>②避難行動要支援者名簿をもとにどのような取組を行っているか。</p> <p>(2)個別避難計画(例:私の避難プラン)作成について</p> <p>①当市の取組状況は。</p> <p>②避難支援関係者について地域の状況を把握しているか。また、アドバイスしていることは。</p> <p>③必要に応じてケアマネージャー、ソーシャルワーカー、医療・福祉の専門家の助言・支援を要請・連携する考えは。</p> <p>④作成に向けた計画は。</p> <p>2.高齢者が幸せに暮らすために</p> <p>(1)IT利用(スマホ)を進める中で、高齢者の使用状況をどのように見積もって各種事業を行っているか。</p> <p>(2)いなべげんき応援アプリ『いなべる』の利用状況は。</p> <p>(3)高齢者デジタルライフ事業について</p> <p>①都市整備部で事業を実施する理由は。</p> <p>②デジタル田園都市国家構想推進交付金は、地域の課題解決や魅力向上のため国が推進している交付金であるが、市の目的と計画は。</p> <p>③高齢者デジタルライフ事業をきっかけに、今後、デジタルを活用した高齢者へのサービスが大きく変化していくと考える。市の展望は。</p> <p>(4)デジタル格差を解消し高齢者も幸せに生きるための『デジタル共存支援』を始める考えは。</p> <p>(5)高齢者の暮らしに直結したわかりやすいアプリをつくり、高齢者が更に暮らしやすくなる事業を始める考えは。</p>

次ページへ続く

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
11	無会派 (45分)	篠原 史紀	<p>1.市長選挙、市議会議員補欠選挙を前に投票率を上げるための施策を問う</p> <p>(1)昨今の全国的な投票率の低迷について所感を。 (2)私の一般質問でデータをもとに様々な議論をしたが、以降、選挙管理委員会で投票率向上のための施策で話し合われたことは。 (3)両選挙に向けて投票率向上を念頭に新たに実施する施策はあるか。</p> <p>2.子ども・子育て、教育、まちの担い手育成に関するウェルビーイング(個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念)政策の増強を</p> <p>(1)子ども基本法では、「18歳や20歳といった年齢で必要なサポートがとぎれないよう、心と身体の発達の過程にある人を「子ども」と定義された。これまで特に希薄になっていた16歳から20歳に対する施策を考えていくことになるが、市として新たに取組む意向はあるか。 (2)子ども・子育て支援事業計画について ①第3期の策定に向け、子ども・子育て基本法で掲げられた理念や自治体の責務を、どのように反映させていくのか。 ②市民へのヒアリング、アンケート等の調査手法と対象は。 (3)子ども基本法は、子どもの多様な社会的活動に参画する権利、子どもが有する意見表明をする権利、大人たちによる表明された意見の尊重を特に重視し、「子どもまんなか社会」の実現を目指している。子どもや若者の参画、意見表明について、市が新たに取組むことはあるか。 (4)ウェルビーイングを目指すいなべ市の教育について。 ①教育長は度々「今必要な学びとは主体的な学びの充実を図り、ウェルビーイングを目指す」と言及した。「そのためにはエイジェンシーの獲得とレジリエンスなどが大切であり、それらを獲得するために非認知能力の涵養を目指す」と今年度の当初予算説明書でも言及している。これを実現するために、いなべ市独自の教育の確立が必要と考える。いなべ市のブランド化も念頭に教育長の所見をうかがう。 ②「児童生徒一人一人を尊重しながら自律と共生を図る教育」「児童生徒の心を聴く教育」について、いなべ市の教育でどのように位置づけていくのか、教育長の所見は。 ③ウェルビーイング政策は、いなべ市が先進的に取組んできたSDGs政策と両輪として必要と考える。新庁舎完成と同時にスタートした新たなまちづくり政策である「グリーンクリエイティブいなべ」の主コンセプトに関しては、観光事業の経済効果に焦点が当てられがちだが、本来は、いなべ市の地域資源の再発見とブラッシュアップ、まちづくりのプレイヤー(特にまちの担い手となる子どもや若者)の発掘・養成を軸にした、市民のウェルビーイングの増進であるが、その事業スキームが明確化、共有化されていないため、市民の理解を得にくい面があると考え。市長の所見をうかがう。 (5)今までの一般質問で、子どもの権利条例の必要性を議論してきた。子ども基本法の策定を受け、再度、市長の所見をうかがう。</p>